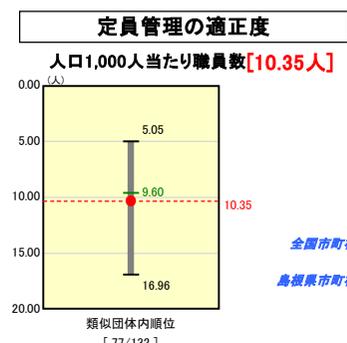
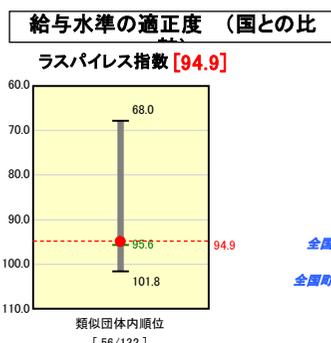
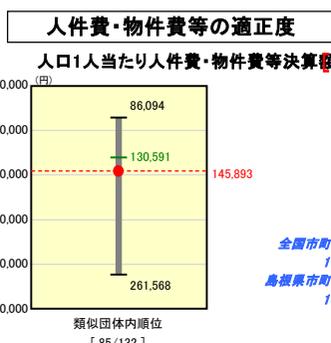
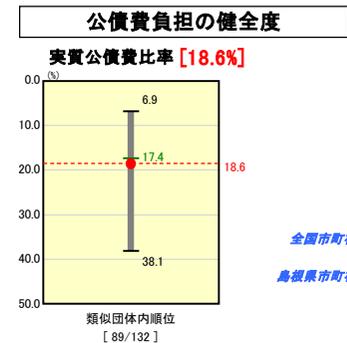
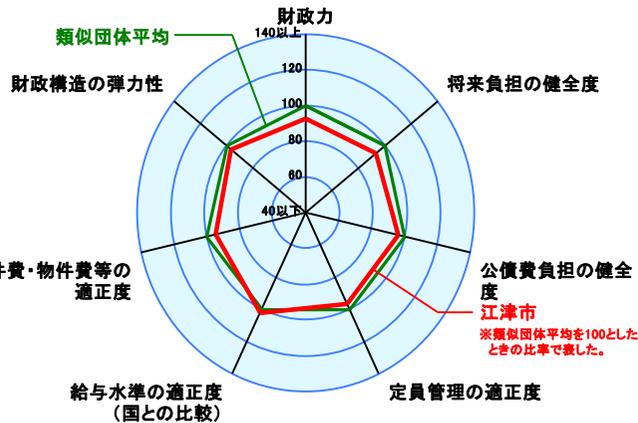
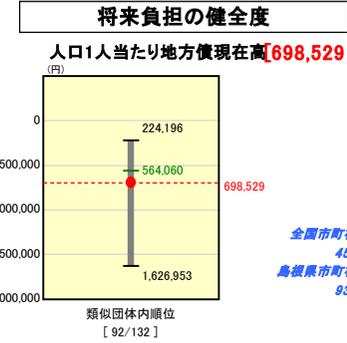
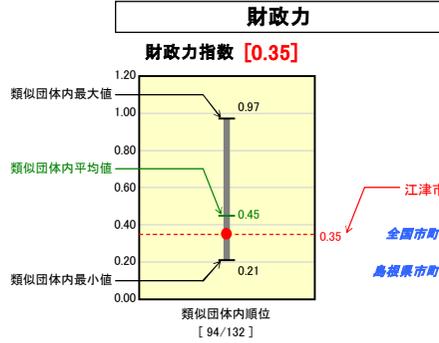


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

島根県 江津市

| | | |
|------|------------|-----------------|
| 人口 | 27,548 | 人(H19.3.31現在) |
| 面積 | 268.51 | km ² |
| 歳入総額 | 14,905,674 | 千円 |
| 歳出総額 | 14,635,927 | 千円 |
| 歳出総額 | 93,384 | 千円 |



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析概

○財政力指数
経済基盤の弱い本市では、今後も大幅な収支等の増は見込めず、さらに近年、地場産業の不振により更なる財政力の低下が懸念される。このため、歳出削減(特に経常経費)を徹底することとし、集中改革プランなどにより、人件費、事務費の圧縮を行い改善を図っていく。

○経常収支比率
人件費、公債費などにより、類似団体と比較し高い水準にあるため、集中改革プランによる職員数の適正化、新規発行地方債の抑制などに努め、収支の改善を図っていく。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体と比較し高い水準にある。これは合併による職員増が主な要因で、合併後の17年度から段階的に削減を行っており、さらに今後も集中改革プランによる職員数の適正化を行う。物件費についても施設の維持管理に指定管理者制度を現在以上に導入するなど改善を図る。

○ラスパイレース指数
平成15年度からの財政健全化計画により、給与水準の引下げを行っており類似団体平均を下回っている。

○人口1人当たり地方債現在高
これまで社会資本整備のため発行してきた地方債残高は、類似団体と比較し高い水準にある。さらに、合併後の新市建設計画事業による増加もあり21年度までは現在の水準で推移する。しかし、今後新規発行額の抑制を行うことにより、これまでの発行済地方債の償還が新規発行以上に進み、22年度以降は減少に向かっていく。

○実質公債費比率
地方債現在高と同様に、21年度までは現在と同水準、またはやや増加するが、22年度以降は減少に向かう。また、類似団体と比較し高い水準にあるので、繰上げ償還等の検討、新規発行額の抑制を行っていく。

○人口1,000人当たり職員数
合併による職員増で類似団体平均を上回っている。今後、集中改革プラン等により、平成21年度までに、16年度比較で総職員数を30人(10%)減らすこととしている。